

公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業検討会 市町村における国民年金手続促進モデル事業 第1回検討会資料

目次

1. 受託者概要と受託する業務について	...	P.3
2 昨年度の実態調査報告書等に基づいた分析 市町村における国民年金手続促進モデル事業に関して	...	P.10
3. 成果物の作成方針とイメージ	...	P.18
4. 作成スケジュールとPDCAモデル	...	P.25

1. 受託者概要と受託する業務について

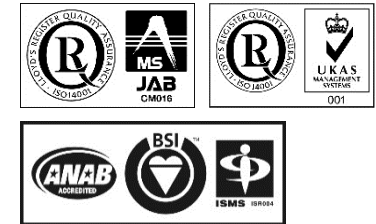
1.1. 会社概要：株式会社 電通パブリックリレーションズ

会社概要



- 社名 **株式会社 電通パブリックリレーションズ**
英文社名：DENTSU PUBLIC RELATIONS INC.
- 設立 1961年9月20日
- 本社所在地 〒 104-0045 東京都中央区築地5丁目6番4号
浜離宮三井ビルディング
(代表電話番号 03-5565-1055)
- 代表者 代表取締役社長執行役員 近見竹彦
- 従業員数 226名 (2014年1月)
- 支社 関西支社
- 主要加盟団体 日本パブリックリレーションズ協会 (PRSJ)
日本記者クラブ
国際PR協会 (IPRA)
日本広報学会
フォーリン・プレスセンター・ジャパン
日本外国特派員協会 他

取得認証



当社の強み

1. 2011年に50周年を迎えた長い歴史によって蓄積されたノウハウ
2. 105名のPRSJ認定PRプランナーを含む、専門家集団 (2014年1月現在)
3. 日本最大規模の売上を誇るリーディング・カンパニー
4. 総合的なコミュニケーションサービスをワンストップで提供
5. メディア、ソートリーダー、有識者などとの豊富なネットワーク
6. 大阪に支社をもつ数少ないPR会社
7. 国内外でのアワード受賞の実績
8. 情報セキュリティへの取組 (ISO27001認証基準の取得)
9. CSR活動の一環としてのISO14001認証取得
10. 専任の担当者が常にアップデートしている約15,000のメディア・コンタクトを保有
11. MSLGROUPをはじめとした、グローバルネットワーク
12. 低い離職率 (2013年1月~12月の当社社員の離職率: 2.9%)

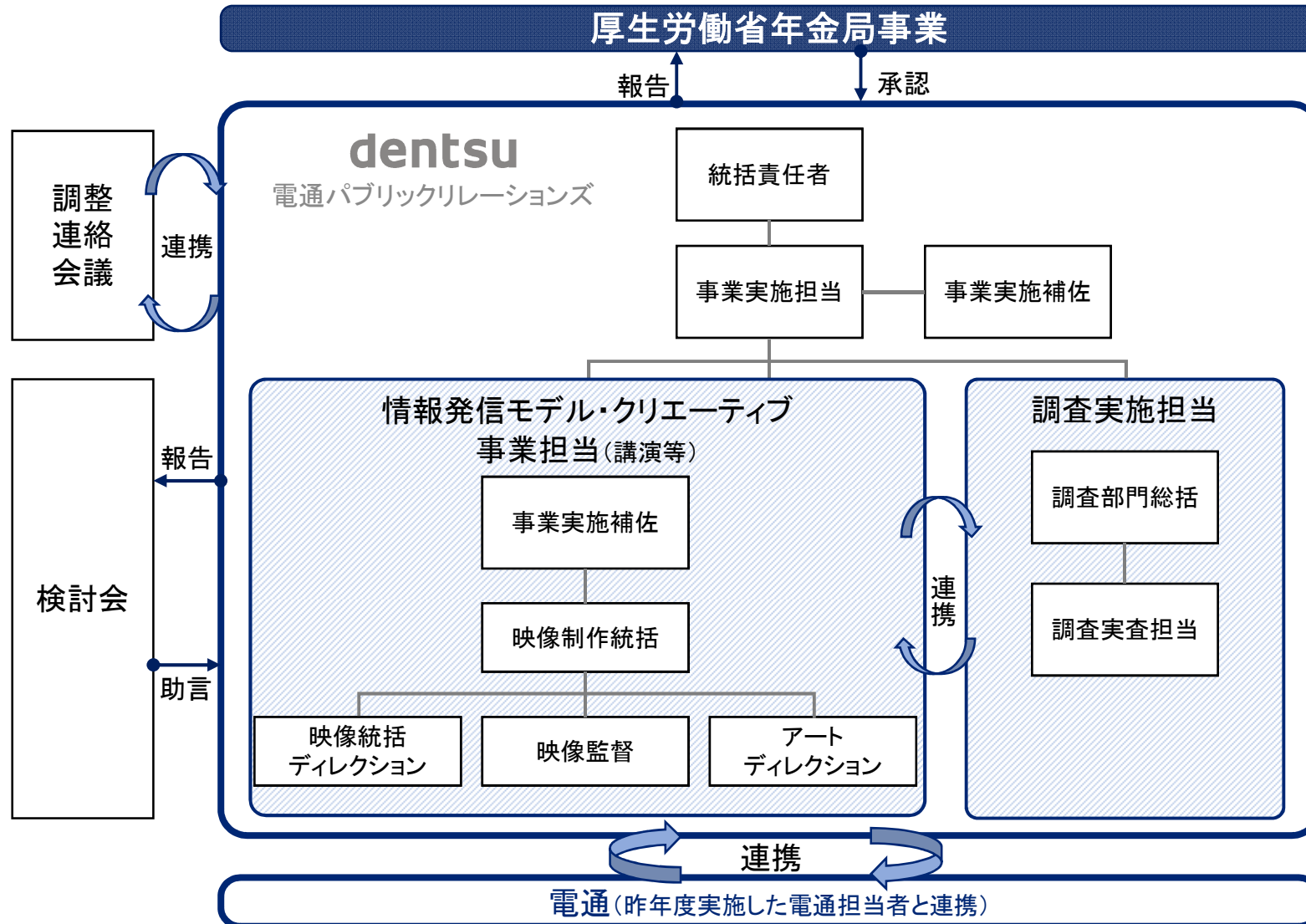


主要クライアント

- ◎ 2013 Fortune Global 500 のうち
49社がクライアント
- ◎ 日経インデックス225社 のうち
59社がクライアント

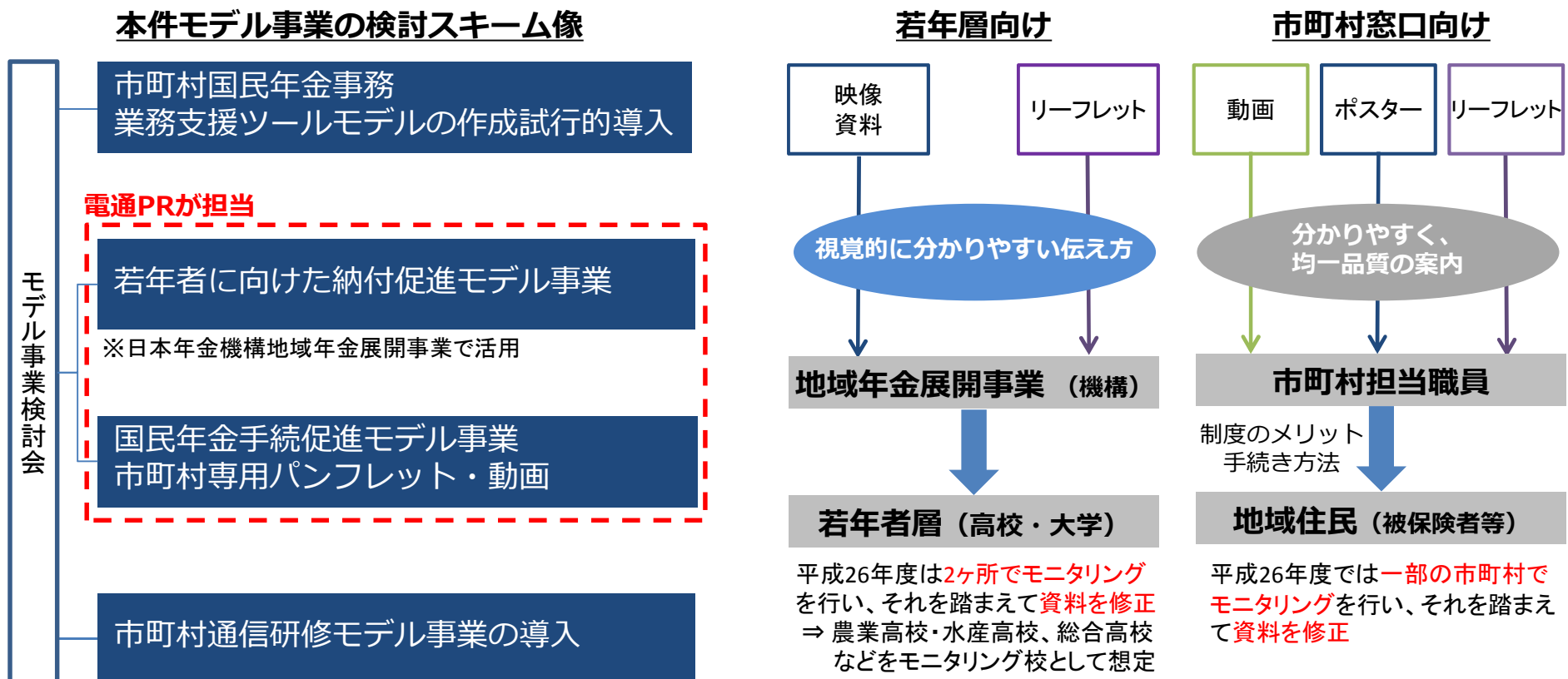
1.2. 事業実施体制

本事業を実施するにあたり、効率的かつ効果的な事業推進を行うため事業実施担当の下に情報発信モデル事業およびクリエイティブ事業と調査実施担当を設置し実施している。



1.3. 電通PRが受託する業務について

- ・国民年金保険料の納付率の向上のためには、年金制度を理解していただき、その有用性を実感してもらうことが重要である。
- ・保険料の納付率向上に向けて、特に国民年金の未納者が多いと言われる若年層への対策の一環として、若年層に対し年金制度への理解の一助となる映像資料等を作成するとともに、当該資料を用いてモデル的に情報発信を行う。
- ・公的年金のメリットやその手続方法についてわかりやすく周知するための、市町村との連携の強化を目的とした国民年金の手続きに関するパンフレット・ポスター・動画をモデル的に作成し、市町村窓口におけるわかりやすい年金制度・手続の説明を行うためのモデル事業を行う。



1.4.今後の検討会にて御検討いただきたい内容

	市町村における国民年金等の手続 促進に係る情報発信モデル事業	国民年金保険料の給付促進に係る 情報発信モデル事業
第1回 検討会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 調査分析の概要 (実施内容及びタイミング) ■ 市町村向け情報発信事業におけるモニタリング指標 ■ 制作ツール(映像資料/パンフレット・ポスター)のコンセプト及び方向性 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存調査分析の概要 (実施内容及びタイミング) ■ 若年層向け情報発信事業におけるモニタリング指標 ■ 制作ツール(映像資料/リーフレット)のコンセプト及び方向性 ■ モデル授業の実施内容
第2回 検討会		<ul style="list-style-type: none"> ■ グループインタビュー実施内容 (年金中長期滞納者およそ10名程度を想定)
第3回 検討会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 映像資料のストーリーボード案 ■ パンフレット・ポスターのデザインキャンプ案 ■ 既存調査分析結果 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講演展開案 ■ 映像資料のストーリーボード案 ■ リーフレットのデザインキャンプ案 ■ 既存調査分析結果

1.5. 第1回検討会にて議論戴きたい事項

本日の検討会では、これまでの既存調査などをご紹介したうえで、若年層向けおよび市町村向けの制作物（映像資料等）に対するファーストインプレッションをお聞かせ頂き、今後ご提示する制作物案へ反映させていただきたいと考えております。

第1回検討会にてご助言戴きたい事項

成果物イメージ
(●章、P.00)

- 若年層向け制作物
 - ・映像資料
 - ・リーフレット
- 市町村窓口向け
 - ・動画
 - ・リーフレット
 - ・ポスター

- 成果物に対するファーストインプレッション(第一印象)
- 訴求するテーマや内容に関して

今後、制作過程におけるお願い

第1回本検討会ではファーストインプレッションをお聞かせいただくこととなるため、
別途**構成員各位**の様々な指摘やご意見をお聞かせ頂き、
今後、改めてご提示する制作物へ反映させていきたいと考えております

1.6. 成果物の作成スケジュール

	8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			
	1日~9日	10日~19日	20日~31日	1日~9日	10日~19日	20日~30日	1日~9日	10日~19日	20日~31日	1日~9日	10日~19日	20日~30日	1日~9日	10日~19日	20日~31日	1日~9日	10日~19日	20日~31日	1日~9日	10日~19日	20日~28日	
全体			指定委員会① 8/27仮 ・方向性提示 ・監修者選定	指定委員会② 9/1or1		指定委員会③ 9/22or29	指定委員会④		指定委員会⑤		指定委員会⑥			指定委員会⑦		講演会実施		指定委員会⑧			指定委員会⑨	
マーケリサーチ			既存調査の分析 KPI-KC提案				定量調査①										定量調査②					
講演会		※委員会日前に候補リスト事前調整	・講師候補選定	講師出演交渉(優秀者様)	・講師FIX							・運営マニュアル提出①	随時修正出し戻し	・進行台本FIX	実施(大学/高校各1回)							
			・会場候補選定	会場交渉(優秀者様)	・会場FIX							・構成案提出①	随時修正出し戻し	・運営マニュアルFIX								
リーフレット					・デザインカンパ提出①							・構成案FIX										
												・MC決定										
映像(10分×1本)						・構成案① (キービジュアル・字コンテ)	・構成案② (キービジュアル・字コンテ)					・構成案提出⇒FIX (ストーリーボード)	撮影準備 (ロケハン・キャストインク)	本編	編集	帯等 試写						
マーケリサーチ	定性調査 (市場性ヒアリング)											定量調査①									定量調査②③	
パンフレット ポスター						本構成(カンパ)案提出①						本構成案(カンパ)FIX	撮影準備 (ロケハン・キャストインク)	本編	第一稿						委員会の最終ご確認必須有無 要確認	
映像(1分×4本)						構成案① (キービジュアル・字コンテ)						構成案② (キービジュアル・字コンテ)	・構成案提出⇒FIX (ストーリーボード)	撮影準備 (ロケハン・キャストインク)	本編	帯等 試写						

！
教材資料
イベントスタッフへ
引き渡し

2 昨年度の実態調査報告書等に基づいた分析

市町村における国民年金手続促進モデル事業に関して

2.1. 市町村における国民年金等の手続促進に係る情報発信モデル事業：概要

市町村窓口来訪者に対しては、より一層充実した説明を行うことで、届出や納付意識の向上を図ること、市町村窓口対応者に対しては、窓口対応にかかる時間を軽減させるとともに、**均一的で分かりやすい説明を行うこと**が、本事業の目的だと考えている。

事業目的

- 市町村窓口来訪者(国民年金被保険者)に対して、国民年金制度や手続に関する説明をより一層充実させ、届出や納付意識の向上を図ること。
- 市町村窓口対応者(市町村職員)の窓口対応にかかる時間を削減するとともに、市町村窓口における均一的な説明を保つこと。

ターゲット

- 市町村窓口来訪者(国民年金被保険者)
- 市町村窓口対応者(市町村職員)

訴求方法

- 動画(窓口誘引)
- リーフレット・ポスター(窓口業務改善)

2.2. 既存調査の調査・分析結果

市町村における国民年金手続状況に関する調査・分析の結果、「窓口来訪者1人あたりの対応状況」など5つの分析項目に関して、下記のようなことが分かった。

調査・分析項目	調査・分析結果およびヒアリング結果引用	考察結果
1. 窓口来訪者1人あたりの対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者1人あたりに要する事務の時間について、類似の事務環境にある市町村であるにも関わらず、最も短い市町村群と最も長い市町村群の間で7.5倍もの差が出ている。 	<p>対応時間について、均一化できる部分については均一化が求められる。</p>
2. 窓口来訪者1人あたりの来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> 「お客様にわかりやすい説明をしてお帰りいただくことで、2度3度とおいでになる必要もありません。」（ヒアリング結果引用） 	<p>案内が複数回に渡ってしまうような難案件の来訪回数削減や、市町村窓口の不十分な説明やミスによる再来訪の削減が必要。</p>
3. 窓口来訪者の国民年金制度に対する理解状況	<ul style="list-style-type: none"> 「日本年金機構から受給者に届く『お知らせ』は、私どもが一目見てもわかりづらい内容になっています。市民の方に納得してもらえる説明が難しいのが現状です。」（ヒアリング結果引用） 	<p>国民年金制度やそれに関する書類は複雑で理解しにくいいため、市町村窓口による分かりやすい説明・案内が必要</p>
4. 窓口来訪者の年金制度に対する信頼状況	<ul style="list-style-type: none"> 「窓口には経済的に支払いの苦しい方が来る。貰えるか分からないという年金制度への不信感を言い訳に使われてしまう。」（ヒアリング結果引用） 	<p>国民年金手続促進のためには、市町村窓口で相談に来た被保険者に対し、年金制度への信頼度を上げるような説明・案内が求められる。</p>
5. 窓口におけるサービスクオリティ	<ul style="list-style-type: none"> 全市区町村の31%が事務経験年数3年以下の職員のみで業務を実施しており、特に19市町村では事務経験年数1年未満の職員のみで業務を実施している。 	<p>年金業務は数年単位で人事異動する担当者個人に知見を集約することが難しい業務であるため、誰もがある一定の水準の説明ができる業務ツール（パンフレット等）の整備が求められる。</p>

2.3. 成果物に対するモニタリング指標のイメージ

既存調査分析結果より成果物に対するモニタリング指標として「制度・納付手段認知」、「窓口業務対応時間の削減」、「サービスクオリティの底上げ」、「サービスクオリティの均一化」の4つのプロセスに関する指標が妥当であると考えられる。

		定義	モニタリング指標	ツール
		手段認知	<ul style="list-style-type: none"> ■ 動画の視聴により、国民年金について、各種制度(免除制度・障害年金の請求方法など)・市町村窓口で実施している手続き(ex.免除制度)を認知している状態 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市町村窓口で行うことができる国民年金に関する手続きや、国民年金制度(ex.障害年金制度・免除制度)の認知獲得に貢献しているか
市町村における国民年金手続状況	時間の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■ 説明ツール(リーフレット・ポスター)導入により、窓口業務に費やす時間を削減できている状態 	<ul style="list-style-type: none"> ● 説明ツール(リーフレット・ポスター)を使うことで窓口来訪者1人あたりの対応時間が削減されそうか(対応時間削減貢献度) ● 説明ツール(リーフレット・ポスター)を使うことで窓口来訪者1人あたりの来訪回数が削減されそうか(来訪回数削減貢献度) 	リーフレット/ポスター
	サービスの底上げ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 説明ツール(動画・リーフレット・ポスター)導入により、①職員にとっては窓口での説明業務がこれまで以上に遂行しやすい状態 ②来訪者にとっては理解しやすい状態 	<ul style="list-style-type: none"> ● 説明ツール(リーフレット・ポスター)を利用したいと思うか(利用意向) ● 説明ツール(リーフレット・ポスター)が窓口での説明に役に立っているか(貢献度) ● 既存の説明ツールと比較し、使いやすくなったか・説明しやすくなったか(改善度) 	
サービスの均一化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 説明ツール(リーフレット・ポスター)導入により、市町村職員の経験年数による説明内容のばらつきを均一化できる状態 			
1. 窓口来訪者1人あたりの対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 対応時間が長引いている市町村について、対応時間削減が求められる。 			
2. 窓口来訪者1人あたりの来訪状況	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 案内が複数回に渡ってしまうような難案件の来訪回数削減や、市町村窓口の不十分な説明やミスによる再来訪の削減が求められる。 			
3. 窓口来訪者の国民年金制度に対する理解状況	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国民年金制度やそれに関する書類は複雑で理解しにくいいため、市町村窓口による分かりやすい説明・案内が求められる 			
4. 窓口来訪者の年金制度に対する信頼状況	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国民年金手続促進のためには、市町村窓口で相談に来た被保険者に対し、年金制度への信頼度を上げるような説明・案内が求められる。 			
5. 窓口におけるサービスクオリティ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 年金業務は数年単位で人事異動する担当者個人に知見を集約することが難しい業務であるため、誰もが一定の水準のサービスを提供できる業務モデルの確立が求められる。 			

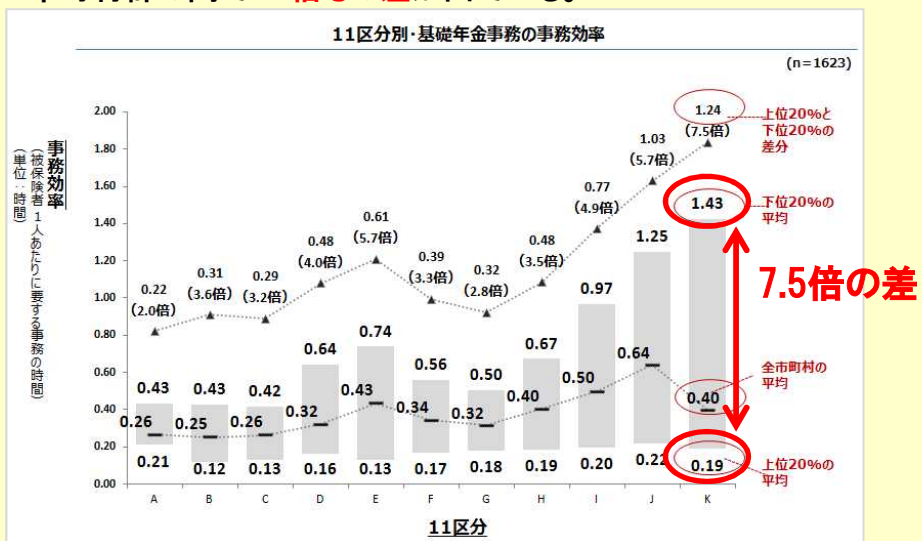
【参考①】. 「窓口業務対応にかかる時間の長さ」

市町村職員にとって窓口業務対応にかかる時間は、窓口来訪者1人あたりの対応時間と来訪回数双方の観点からも長くなっており、負担になっていると考えられる。

既存調査から見た課題

窓口来訪者1人あたりの対応時間の長さ

- 被保険者1人あたりに要する事務の時間について、類似の事務環境にある市町村であるにも関わらず、最も短い市町村群と最も長い市町村群の間で**7.5倍もの差**が出ている。



(出典:『国民年金等事務取扱交付金実態調査結果に関する業務効率化提言報告書』
P5「法定受託事務の現状～市町村の事務効率の状況」より)

窓口来訪者1人あたりの来訪回数の多さ

- 「障害年金の相談などは**一度では終わらない**ため、とても時間がかかってしまいます。」
(出典:『年金時代』「国民年金の現場から」連載43)
- 「お客様にわかりやすい説明をしてお帰りいただくことで、**2度3度とおいでになる必要もなくなります。**」
(出典:『企業年金』「年金相談業務のいま I」P14)
- 「高齢者の方、障害のある方、…(中略)…**同じ説明を繰り返して市役所に来て貰ってもなかなか資料が揃わなかったりする。**」
(2014年8月5日市町村ヒアリング)

案内が複数回に渡ってしまうような**難案件の来訪回数削減**や、**市町村窓口の不十分な説明やミスによる再来訪の削減**が求められる。

対応時間が長引いている市町村について、**対応時間削減**が求められる。

【参考②】. 「サービスクオリティ底上げの必要性」

国民年金制度に関する手続きや資料は、複雑で分かりにくいという声が多い。また年金制度に対する不信感や不安が窓口寄せられている背景がある。

既存調査から見えた課題

窓口来訪者の国民年金制度に対する理解不足

・「日本年金機構から受給者に届く『お知らせ』は、私どもが一目見ても**わかりづらい**内容になっています。市民の方に納得してもらえる説明が難しいのが現状です。」

(出典:『年金時代』「国民年金の現場から」連載23)

・「これまで市役所の窓口については、『**わかりづらい**』『**手間がかかる**』という声寄せられていました。」

(出典:『年金時代』「国民年金の現場から」連載43)

・「お客様に説明するには、**分かりやすさ**が大事。…(中略)…お客様向けに『**翻訳**』していないといけない。」

(2014年8月5日市町村ヒアリング)

窓口来訪者の年金制度に対する不信感

・「若い方を中心に、**年金制度への不信**や**漠然とした不安**があります。」

(出典:『年金時代』「国民年金の現場から」連載21)

・「なかには『**年金制度は将来つぶれてもらえない**』と、加入を拒否する人もいます。」

(出典:『年金時代』「国民年金の現場から」連載28)

・「窓口には**経済的に支払いの苦しい方**が来る。貰えるか分からないという**年金制度への不信感**を言い訳に使われてしまう。」

(2014年8月5日市町村ヒアリング)

国民年金制度やそれに関する書類は複雑で理解しにくいいため、市町村窓口による**分かりやすい説明・案内**が求められる。

国民年金手続促進のためには、市町村窓口相談に来た被保険者に対し、**年金制度への信頼度を上げるような説明・案内**が求められる。

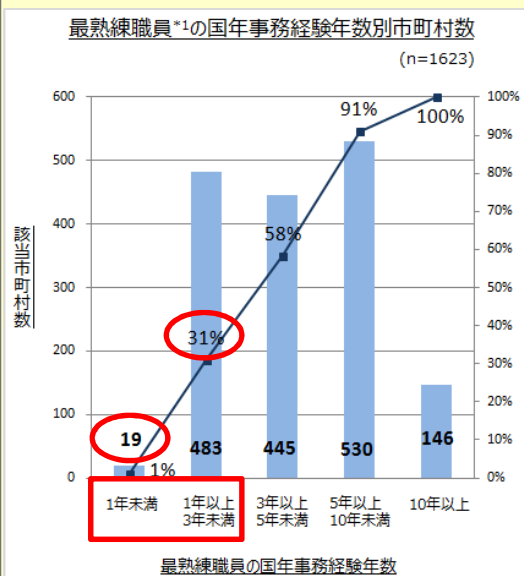
【参考③】. 「不均一なサービスクオリティ」

市町村窓口立つ職員の業務経験に差があるために、窓口対応のサービス内容が不均一であること、また経験年数の少ない職員が多いという実態がある。

既存調査から見た課題

不均一なサービスクオリティ

- ・全市区町村の**31%**が**事務経験年数3年以下の職員のみ**で業務を実施しており、特に**19市町村では事務経験年数1年未満の職員のみ**で業務を実施している。



(出典:『国民年金等事務取扱交付金実態調査結果に関する業務効率化提言報告書』)

P11「法定受託事務の現状～実施担当者のスキル1/2(市町村における知見の蓄積)」

- ・「研修時間もそれほど取れず、**新人も窓口立ちながら覚えていくのが実情**です。特に窓口業務は経験を要します。新法だけでなく、旧法や制度全体の経緯も知っておく必要があります。」

(出典:『年金時代』「国民年金の現場から」連載29)

- ・「**異動のサイクルが短く、年金の知識を得て定着させることが難しい状況**です。」

(出典:『年金時代』「国民年金の現場から」連載29)

- ・「職員は**3年程度、長くても5年ぐらい**で異動する。」

(2014年8月4日市町村ヒアリング)

- ・「年金は職員の**理解がばらばら**している。」

(2014年8月5日市町村ヒアリング)

年金業務は数年単位で人事異動する担当者個人に知見を集約することが難しい業務であるため、**誰もが一定の水準のサービスを提供できる業務モデルの確立が求められる。**

3. 成果物の作成方針とイメージ

3.1. 成果物に対するモニタリング指標

動画に関しては、「窓口イメージの向上と親近感アップ」、「自分ゴトとしての認識」の2点がテーマとして考えられる。

市町村における国民年金手続状況	<p>1. 窓口来訪者1人あたりの対応状況</p> <p>▶ 対応時間が長引いている市町村について、対応時間削減が求められる。</p>
	<p>2. 窓口来訪者1人あたりの来訪状況</p> <p>▶ 案内が複数回に渡ってしまうような難案件の来訪回数削減や、市町村窓口の不十分な説明やミスによる再来訪の削減が求められる。</p>
	<p>3. 窓口来訪者の国民年金制度に対する理解状況</p> <p>▶ 国民年金制度やそれに関する書類は複雑で理解しにくいいため、市町村窓口による分かりやすい説明・案内が求められる</p>
	<p>4. 窓口来訪者の年金制度に対する信頼状況</p> <p>▶ 国民年金手続促進のためには、市町村窓口 に相談に来た被保険者に対し、年金制度への信頼度を上げるような説明・案内が求められる。</p>
	<p>5. 窓口におけるサービスクオリティ</p> <p>▶ 年金業務は数年単位で人事異動する担当者個人に知見を集約することが難しい業務であるため、誰もが一定の水準のサービスを提供できる業務モデルの確立が求められる。</p>



		成果物(動画)のテーマ/コンセプト	
		テーマ	コンセプト
動画	A案	窓口イメージの向上と親近感アップ	実際のやり取りがなされる役所の窓口を舞台に現実のケースを取り上げ、窓口来訪者にとって窓口は便利な場所であることを訴求。
	B案	自分ゴトとしての認識	複雑、難しい、固いイメージを持たれている国民年金の情報ツールをキャラクターによって「ソフトな印象: わかりやすい」「独創性: 興味を持ってもらいやすい」「物語性: 最後まで視聴してもらいやすい」を得やすくする。

3.2.1. 映像資料イメージ A

テーマ	窓口イメージの向上と親近感アップ
コンセプト	実際のやり取りがなされる役所の窓口を舞台に現実のケースを取り上げ、窓口来訪者にとって窓口は便利な場所であることを訴求。

① [加入世代の“僕1人ぐらい”] 篇	② [納付世代の“無関心”] 篇
「加入手続きとか面倒なんですよね？」	「僕たち家族には関係ないですよね？」
国民年金について質問をする学生 	国民年金について質問をする若夫婦 
タイトルバック 国民年金  「加入手続きとか面倒なんですよね？」	タイトルバック 国民年金  「僕たち家族には関係ないですよね？」
質問に答える年金窓口の女性職員 	質問に答える年金窓口の女性職員 
質問に対する図・グラフを用いた詳しい解説 	質問に対する図・グラフを用いた詳しい解説 
メインメッセージ (まとめの説明) 日本国民の20人に19人が年金制度に参加しています。	メインメッセージ (まとめの説明) 年金にはもしもの時に備えて遺族年金・障害年金も含まれています。
納得顔でうなづく学生 	安心して微笑み合う夫婦 

リアルボイス

実際のやり取りがなされる街の窓口を舞台に、現実のケースを取り上げ、わかりやすい内容で質問者に対応している窓口業務者のシチュエーションを作り、リアルな状況で国民年金を理解させる展開にまとめます。

- 映像制作の考え方
 - ・窓口来訪者の窓口来訪しやすい空気感をつくることを考慮にいれ制作
 - ・窓口対応者と来訪者の窓口での会話のネタになるように考慮する。

※ 映像コンテ上、図表、初心者マーク等はダミーです。実際の制作時にオリジナルでマークします。

3.2.2. 映像資料イメージ B

テーマ	自分ゴトとしての認識
コンセプト	複雑、難しい、固いイメージを持たれている国民年金の情報ツールをキャラクターによって「ソフトな印象：わかりやすい」・「独創性：興味を持ってもらいやすい」・「物語性：最後まで視聴してもらいやすい」を得やすくする。

① なぜ僕らが支払うの？	② 二人の未来に役に立つ？
<p>何気なく支払っている年金に、ふと疑問を感じてモヤモヤ</p> 	<p>彼女との将来を考えて、年金はどう役立つんだろうとモヤモヤ</p> 
<p>窓口で尋ねた“モヤっとくん。”</p> 	<p>窓口で尋ねた“モヤっとくん。”</p> 
<p>男性職員が図解でわかりやすく説明</p> 	<p>男性職員が図解でわかりやすく説明</p> 
<p>メインメッセージ (まとめの説明)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>日本国民の 20人に19人が 年金制度に参加しています。</p> </div>	<p>メインメッセージ (まとめの説明)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>年金には もしもの時に備えて 遺族年金・障害年金も 含まれています。</p> </div>
<p>問題解決で、張り切って働く“モヤっと”くん</p> 	<p>安心してプロポーズする“モヤっと”くん</p> 

キャラクター

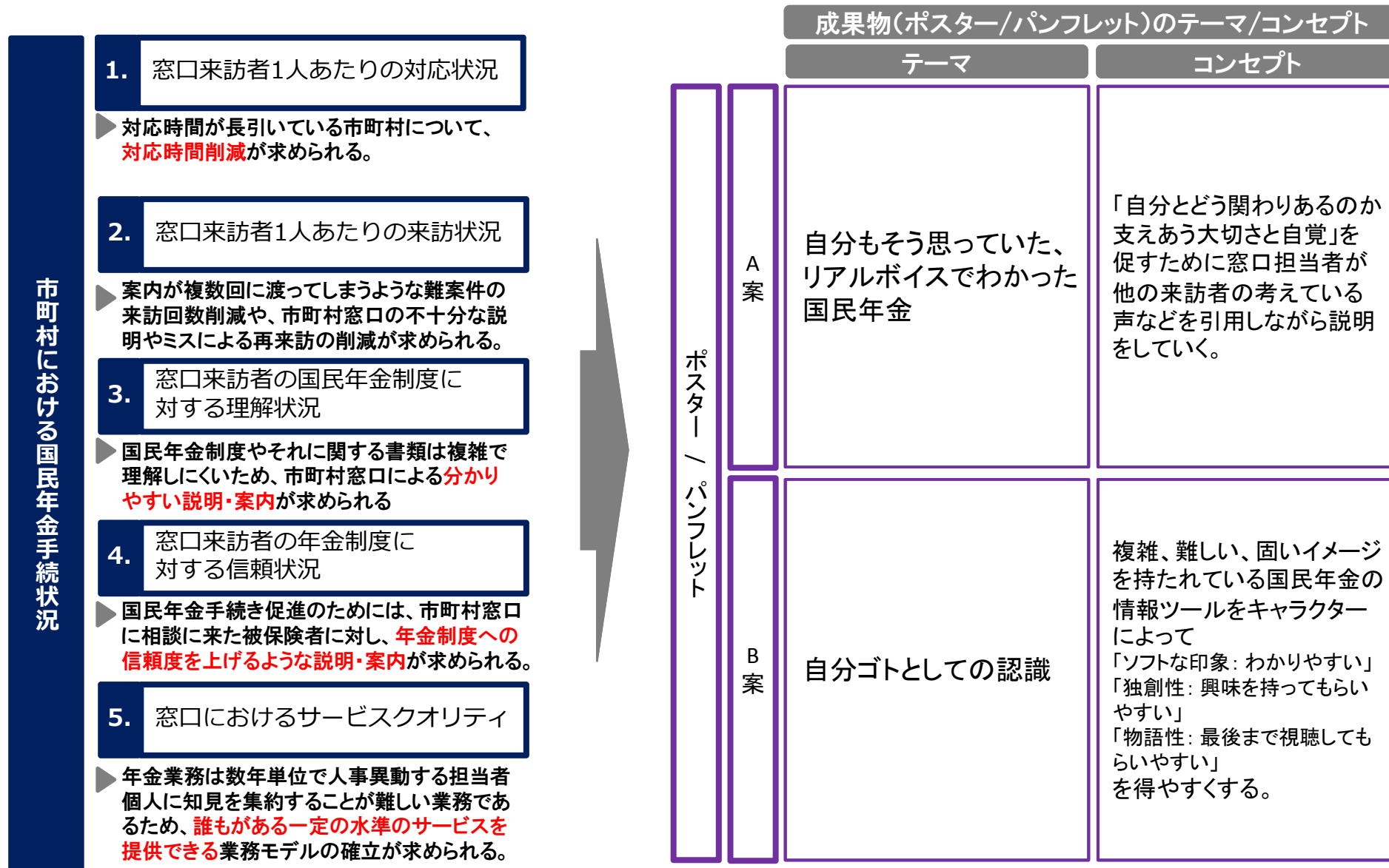
視聴者が“自分ゴト”として認識できるよう、1人の主人公の生活をフレームとして展開。来訪者と対応者のシチュエーションを通じて、職員のシュミレーションともなるよう、わかりやすく解説します。

- 映像制作の考え方
 - ・窓口来訪者の窓口来訪しやすい空気感をつくることを考慮にいれ制作
 - ・窓口対応者と来訪者の窓口での会話のネタになるように考慮する。

※ カンプ上のキャラクターは仮です。

3.3.1. 成果物に対するモニタリング指標：ポスター/パンフレット

ポスター/パンフレットのテーマとしては「自分もそう思っていた、リアルボイスでわかった国民年金」や「自分ゴトとしての認識」などが考えられる。



3.3.2. リーフレット/ポスター イメージA

テーマ	自分もそう思っていた、リアルボイスでわかった国民年金
コンセプト	「自分とどう関わりあるのか支えあう大切さと自覚」を促すために窓口担当者が他の来訪者の考えている声などを引用しながら説明をしていく。



リアルボイス

国民年金を深く理解させる上で、「自分とどう関わりがあるのか：支えあう大切さと自覚」を促すため、納付世代の多数が「自分もそう思っていた」という国民年金に対するリアルな声を冒頭展開。

納付世代側の意見をメインキャッチに立て、少しどきりとさせる導入メッセージからポスター情報へ興味を喚気させる構造です。

- パンフレット・ポスター制作の考え方
- ・業務改善ツールに連動し、市町村窓口対応者の使いやすさを考慮
- ・来訪者の方に分かりやすい内容にすること。

3.3.3. リーフレット/ポスター イメージB

<p>テーマ</p>	<p>自分ゴトとしての認識</p>
<p>コンセプト</p>	<p>複雑、難しい、固いイメージを持たれている国民年金の情報ツールをキャラクターによって「ソフトな印象：わかりやすい」・「独創性：興味を持ってもらいやすい」・「物語性：最後まで視聴してもらいやすい」を得やすくする。</p>



イラストレーション

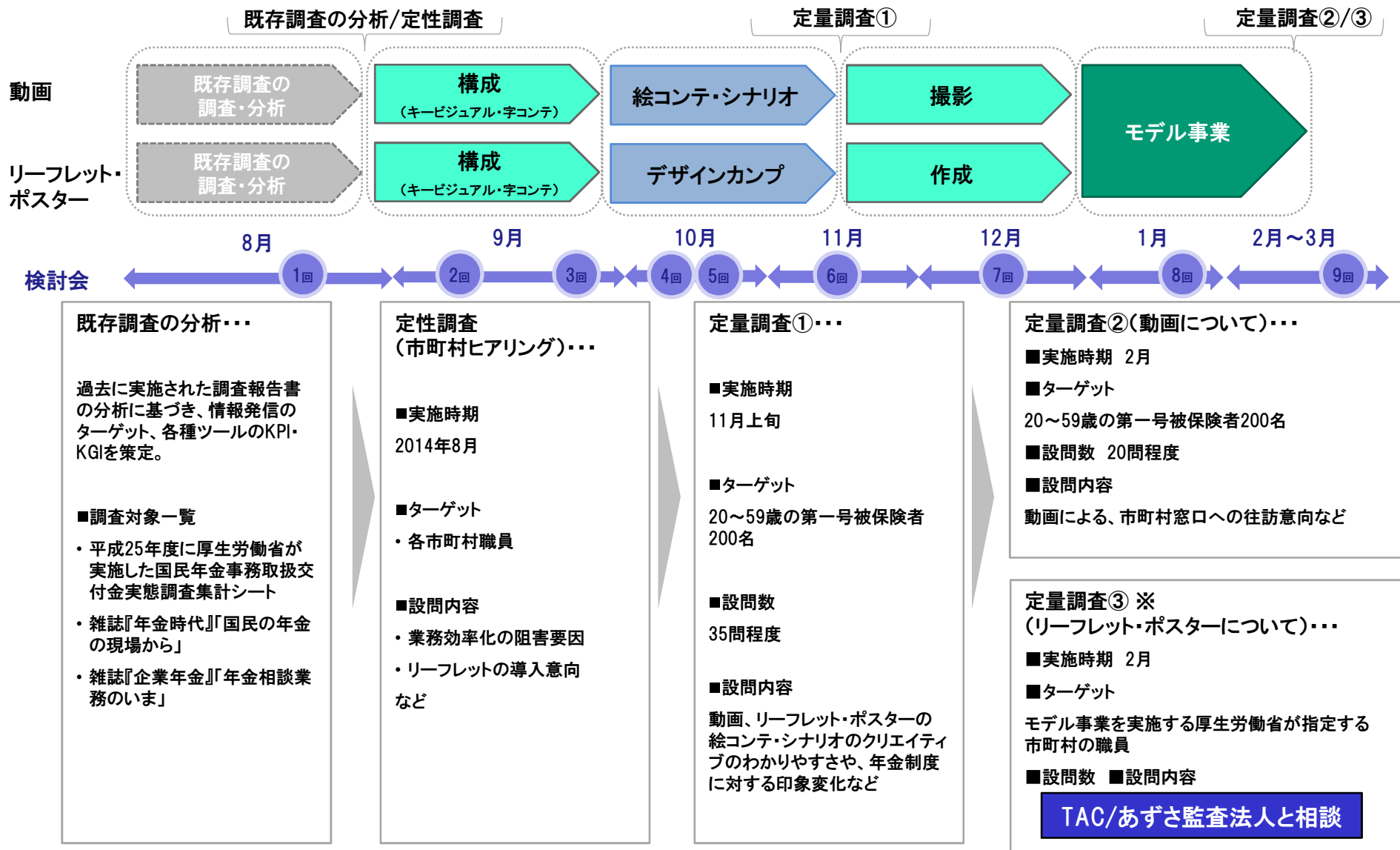
メインキャッチは、年金を推進する立場からではなく、年金を必要とする納付側からのメッセージとし、情報の入口で共感を持たせる。

キャラクターを新規作成(キャラクター性と世界観を活かし、固い・難しい先入観を払拭し、<情報の理解度:文字情報への興味>を喚起。(現状のキャラクターデザインは仮です)

- パンフレット・ポスター制作の考え方
- ・業務改善ツールに連動し、市町村窓口対応者の使いやすさを考慮
- ・来訪者の方に分かりやすい内容にすること。

4. 作成スケジュールとPDCAモデル

4.2. 市町村における国民年金手続促進モデル事業



※調査票作成/集計・分析/報告書作成・電通PR (電通em1)

調査実施/データインプット・厚労省さま